

五子、古堅國民學校ニ在リ

中頭地区隊長 美田大佐

下達法 印刷交付

配布先 各守備隊 224

報告通報先 44BS 船舶工兵 23 3/27AA 飛行場大隊本部

木村隊 安田隊 111/100SAS

獨混五作命第九號

中頭地区隊命令

六、一六、二二

- 一 帝國在郷軍人會沖繩支部ハ管内ニ防衛隊ヲ編成セリ
- 旅團ハ作戰ニ當リ之ヲ指揮ス
- 二 地区隊ハ担任区域内ニ在ル防衛隊裝備訓練ヲ指導援助シテ之ガ戦力ヲ充實ヲ期シ開戦ト共ニ之ヲ併セ指揮シ防備ニ任セントス
- 三 各守備隊ハ区域内防衛中隊ノ裝備訓練ヲ指導スベシ
- 訓練ノ重点ト監視搜查警戒及夜間ニ於ケル奇襲動作トス
- 四 東守備隊ハ金武中隊(四〇名)ヲ以テ金武岬ノ防備ニ恩納中隊(五五)ヲ以テ恩納村沿岸ノ防備ニ各々任セシメ戦斗ノ進捗ニ伴ヒ石川岳ヲ確保セシムベシ
- 五 西守備隊ハ讀谷山中隊(三六)ノ一部ヲ以テ渡慶次半島ノ防備ニ任

力ハ國吉屋取都屋楚辺附近ノ偽陣地ヲ守備セシメ北谷中隊(九八)ヲ以テ砂辺ノ平安山附近ノ要點ヲ確保セシムベシ

五、予、古堅國民學校ニ在リ

中頭地区隊長 美田大佐

下達法 印刷交付

配布先 各守備隊 224

報告通報先 44BS 船舶工兵 23 3/27AA 飛行場大隊本部

木村隊 安田隊

M/100SAS

獨混五作命第九號

中頭地區隊命令

七、一六、一三、  
七、一六、一三、  
七、一六、一三、  
七、一六、一三、

一 帝國在郷軍人會沖繩支部ハ管内ニ防衛隊ヲ編成セリ

旅團ハ作戰ニ當リ之ヲ指揮ス

二 地區隊ハ担任區域内ニ在ル防衛隊裝備訓練ヲ指導援助シテ之ガ戦力ヲ充實ス期シ開戦ト共ニ之ヲ併セ指揮シ防備ニ任セントス

三 各守備隊ハ區域内防衛中隊ノ裝備訓練ヲ指導スベシ  
訓練ノ重点ト監視検査警戒及夜間ニ於ケル奇襲動作トス

四 東守備隊ハ金武中隊(四〇名)ヲ以テ金武岬ノ防備ニ恩納中隊(元

五)ヲ以テ恩納村沿岸ノ防備ニ各々任ゼシメ戦斗ノ進捗ニ伴ヒ石川  
岳ヲ確保セシムベシ

五 西守備隊ハ讀谷山中隊(三六)ノ一部ヲ以テ渡慶次半島ノ防備ニ  
力ハ國吉屋取都屋楚辺附近ノ偽陣地ヲ守備セシメ北谷中隊(三  
九八)ヲ以テ砂辺ノ平安山附近ノ要點ヲ確保セシムベシ



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

獨混三五作命第十號

中頭地区隊命令

一九七八年〇〇月〇〇日

一地区隊ハ洞窟、掩蔽部ノ強化作業ヲ實質

施セントス

ニ工兵隊長ハ工兵隊ノ主力ヲ以テ所在材料

ニヨリ各隊ノ洞窟、掩蔽部ヲ補強スベシ

材料ノ取得ニ関シテハ現地ノ地方側ト協定

スルニ要ス

三各隊ハ工兵隊作業間ノ給養ヲ担任スルト共

ニ其ノ作業ヲ援助スベシ

四予、古堅國民學校ニ在リ

中頭地区隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳、後印刷交付

配付先 各守備隊

224

報告通報先

441BS

昭和五年七月十九日

晴

一。八。〇。部隊副官陣地構築ニ協力スベキ地方人ヲ  
假收、夕メ普天馬動員署長ト北谷、讀谷山方面

古堅

ニ出張

美田



訓

第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令 第一〇四號命令 第一〇四號命令

第一〇四號命令

獨逸五作命第二號

中頭地也隊命令

七三二八  
吉  
第一〇四號命令

一地区隊、築城、為各隊、爆破作業、修

得セシメントス

二各隊、爆破作業、修業者トシテ各中隊

將校、各小隊、下士官、兵、三ヲ差出シ、工兵

隊長、指揮ヲ受ケシムベシ

三工兵隊長、各守備隊ニ到リ、前項教育ヲ

實施スベシ

教育開始前教育計畫ヲ提出スルモノトス

四兵器掛り、爆破教育ニ要スル資料ヲ交付ス

ベシ

五三ノ六古堅國民學校ニ在リ

中頭地五隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳へ後印刷交付

既布先 各守備隊 特224中隊

報告先 49Bs

陸軍

昭和九年七月五日 一四。部隊長岡澤大尉帶同平安山附近視察

晴 引續キ第二大隊防衛隊幹部會食ニ出席

古 堅 二四。部隊副官嘉手納旅團司令部ニ於ケル副官

會同ニ出席

下達命令 獨立混成第一五聯隊日日命令

獨立命令第二三號別紙

下士官昇給ニ関スル命令

一 陸軍准尉 三浦敏福

陸軍曹長 湯原清

陸軍曹長 木村武夫

陸軍曹長 高橋繁

陸軍曹長 俣坂虎吉

陸軍曹長 山崎石太郎

陸軍曹長 千坂恭治



給一等級	陸軍軍曹	酒
I A	陸軍軍曹長	山田 久
II	陸軍軍曹	宮内 忠
III	陸軍軍曹	岩淵 亮
IV	陸軍軍曹	堀 茂
V	陸軍軍曹	鈴木 健
VI	陸軍軍曹	宮本 乙松
VI	陸軍軍曹	小池 喜義
VI	陸軍軍曹	小泉 弘
VI	陸軍軍曹	高野 省吾
VI	陸軍軍曹	土岐 平
VI	陸軍軍曹	廣瀬 亮
給二等級	陸軍軍曹	廣瀬 亮

陸軍

東京小澤路

給二等級	陸軍軍曹	大 亀 小一
給三等級	陸軍衛生部曹長	大河内 正則
I	陸軍衛生部曹長	堀 江 禮吉
II	陸軍衛生部曹長	村 井 正 順
III	陸軍衛生部曹長	野 村 俊 人
給一等級	陸軍兵技軍曹	笠 井 凌
給二等級	陸軍兵技軍曹	笠 井 凌

以上何レモ六月三十日附

衛兵服務要領左、如ク改ム

起床時限ヨリ又食時限マテ歩哨ハ表門三名立哨スルモノトス

若以外ノ時限ニ於テハ表門ヲ閉鎖シ表門歩哨ハ勤哨トナリ

兵舎ヲ四周ヲ警戒スルモノトス

3. 清燈台ニ於ケル控兵ハ歩哨一司令若クハ歩哨一十ニ面  
 余々兵ハ假眠スルコトヲ傳  
 司令ハ止ムヲ得サレバ兵長ヲ以テ急ツテトヲ傳  
 二 衛兵ハ差出區分ラセ、如ク改ム  
 二十一日 工兵中隊 二十三日 聯隊砲中隊  
 二十四日 通信班 二十五日 速射砲中隊  
 日直司令 日直副官  
 二十三日 藤本中尉 濹谷曹長  
 二十四日 杉浦中尉 岡田曹長  
 二十五日 北村中尉 石川曹長  
 二十六日 岡澤大尉 堀江曹長  
 二十七日 藤本中尉 市川曹長  
 日直右ノ如ク服務スベシ



東京小澤部

昭和九年七月五日  
 一 一三。部隊長作戰主任帶同旅團司令部ニ  
 於ケル團隊長會議ニ出席  
 古 堅 二 衛子神中尉以下一九五名(門司決置者)無事  
 那霸港ニ到着  
 獨立混成第四旅團命令  
 一 軍ハ對機甲放令普及教育ヲ實施ス  
 二 各隊ハ左記ノ如ク專習員(優秀ナル將校一名)ヲ選定シ七  
 月二十四日九時軍司令部ニ集合セシムヘシ  
 左 記  
 旅團司令部  
 中頭地區隊  
 獨立射擊隊  
 團頭地區隊  
 伊江島地區隊  
 計數ナク各別  
 發本ノ機

美田

旅團長 鈴木少將

下達法 團頭 伊江島地區隊無線 印刷交付

配賦先 練下 指揮下各隊

報務先 二二軍

發給

...

...

昭和七年三月五日

晴

古 堅

二山張

下達命令

獨立混成第一五聯隊日日命令

獨立混成第一五聯隊

一本二三日予防接糧(ベスト第一回)ヲ實施ス

依而左ノ通り心得フベシ

場所 醫務室

時間 〇。八。〇。

順序 R TA IA R TA

美田

...



七樹木、狀況及之利用法

旅團長

鈴木少將

下達法 印刷交付

配賦先

報告先



32A

1500  
77A

Vertical columns of handwritten Japanese text, likely a report or memo, containing various details and possibly dates or locations.

陸軍

昭和九年七月十五日

晴 視察

古堅



一旅團長部隊長帶同伊波具志川方面ノ陣地

昭和九年十月廿五日

古 堅

部 隊

一、林團身附新身帶同野原具志川下河、斬出

軍

昭和九年十月廿六日

晴

古 堅

受 領

獨立混成隊第六號

一、一、〇、第二大隊長來隊

解除訓練，為出向

二、後發資材、彈藥其、他事故、ノ揚陸集積完了

獨立混成第四四旅團命令

七、二六、一、〇、〇、  
嘉 千 紙

一、軍、諸隊、展開進捗、二件、特設警備中隊、警備

召集ヲ解除ス

二、特設警備第三四、二、五、兩中隊長、八、二六、日、一、八、〇、召

集解除ヲ實施ス、

旅 團 長 鈴木少將

下 達 法 電話後印刷交付

配 布 先 中頭國頭兩地區隊 持警 224 225

報 告 先 三二軍

下 達 命 令

別 紙

獨混五作命第一二號  
獨混五作命第三號  
獨混五作命第四號

美田


獨混五作命第一三號

獨混五作命第一五聯隊命令

七三六一三一〇 野

一聯隊、後續人員及資材ハ七月二十五日那霸

埠頭ニ揚陸ヲ完了シ集結セリ

二聯隊ハ人員彈藥資材ヲ各守備地ニ輸送セ

ントス

三御子神中尉ハ人員資材中第三大隊ニ在ス

ルモノヲ込分集積スベシ

四畑澤大尉ハ明ニ七日那霸至ニ到リ人員彈

藥資材ヲ輸送ニ関シ軍並ニ停車候泊場ヲ各

部ト連絡ニ任ズベシ

五兵器委員ハ二十七日那覇埠頭到リ各種兵器  
ノ追及彈藥ノ約四分ノ一ヲ第三大隊ニ追及スル  
如ク区處スベシ

六高級主計ハ二十七日那覇埠頭到リ携行糧秣  
及資材ノ中約ニヶ月分ヲ第三大隊ニ追送スル如  
ク区處スベシ

七高級軍医ハ二十七日那覇埠頭到リ到着  
衛生資材ノ約四分ノ一ヲ第三大隊ニ追送スル  
如ク区處スベシ

八御子神中尉ハ續部隊(第三大隊ノモトヲ除ク)  
ノ追及スベキ人員及彈藥資材ヲ指揮シテ  
ク速ニ先ヅ嘉嘉キ納ニ向ヒ前進スベシ

九水野谷少尉ハ速カニ船舶司令部ト連絡シ第  
三大隊ニ追及スベキ人員資材ノ輸送ニ任ジ伊  
江島到リ第三大隊長ノ指揮下ニ入ルベシ  
彈藥資材ノ搭載ハ第三大隊ノ人員ヲ以テ  
實施スルモノトス

十富田主計中尉ハ那覇到着以降ノ經理業  
務ヲ整理シタル后ナルベク速ニ本隊ニ追及スベシ



土予ノ古堅國民學校ニ在リ

獨逸成第一五聯隊長 美田大佐

下達法 要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

配布先 各隊

報先通報先

44/5

獨混五作命第十三號

中頭地區隊命令

昭一九七、二六、一五、三



一 旅團ハ複廓陣地ノ地形ヲ精査ス

二 中頭地區隊ハ獨混四四旅作命第五號ニ基キ複廓陣地ノ

地形ヲ偵察セントス

三 東及西守備隊長ハ別紙地域ノ地形ヲ偵察シ八月六日迄

ニ要圖報告スベシ

主要ナル偵察事項左ノ如シ

- 一、據其陣地タルベキ地区ノ特性及利用手段
- 二、道路改修又ハ増設
- 三、洞窟ノ状況及補強手段
- 四、彈藥糧秣ノ豫想貯藏位置
- 五、戰車障礙物ノ状況
- 六、水ノ状況
- 七、樹木ノ状況及之ガ利用法

中頭地区隊長 美田大佐

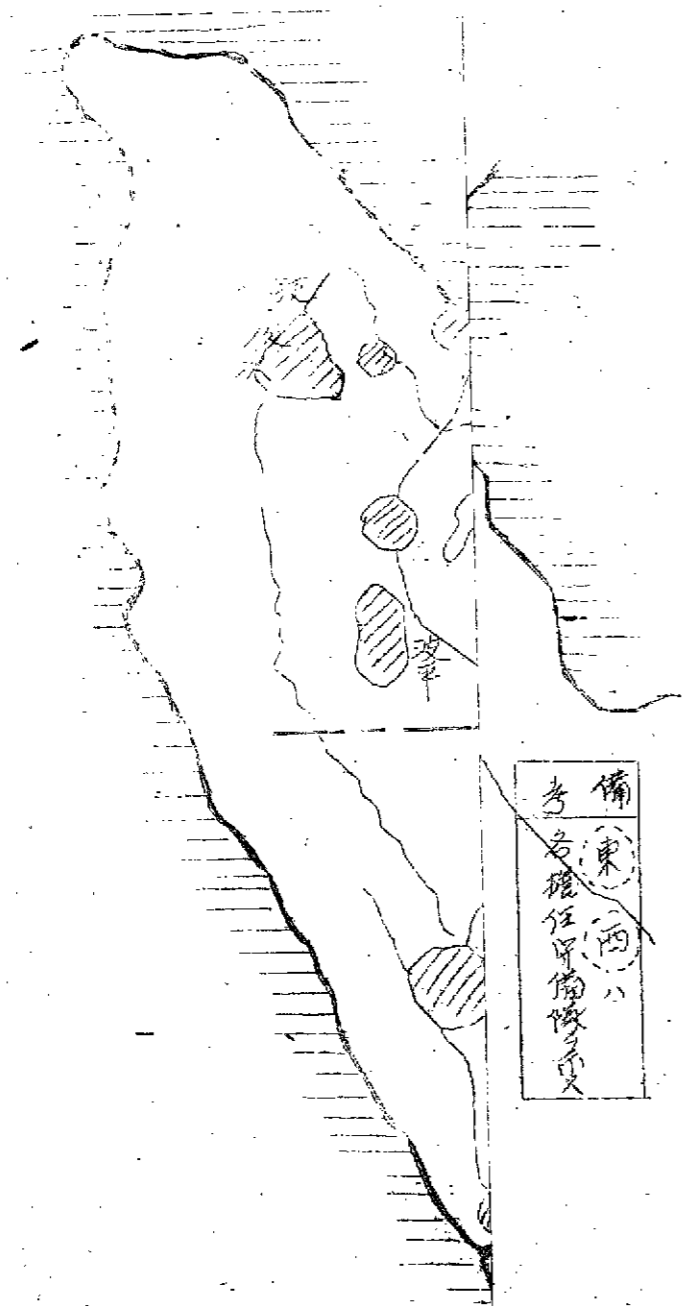
下達法 要旨ヲ得ハ後印刷交付

配付先 各隊

報告先 44185

別紙

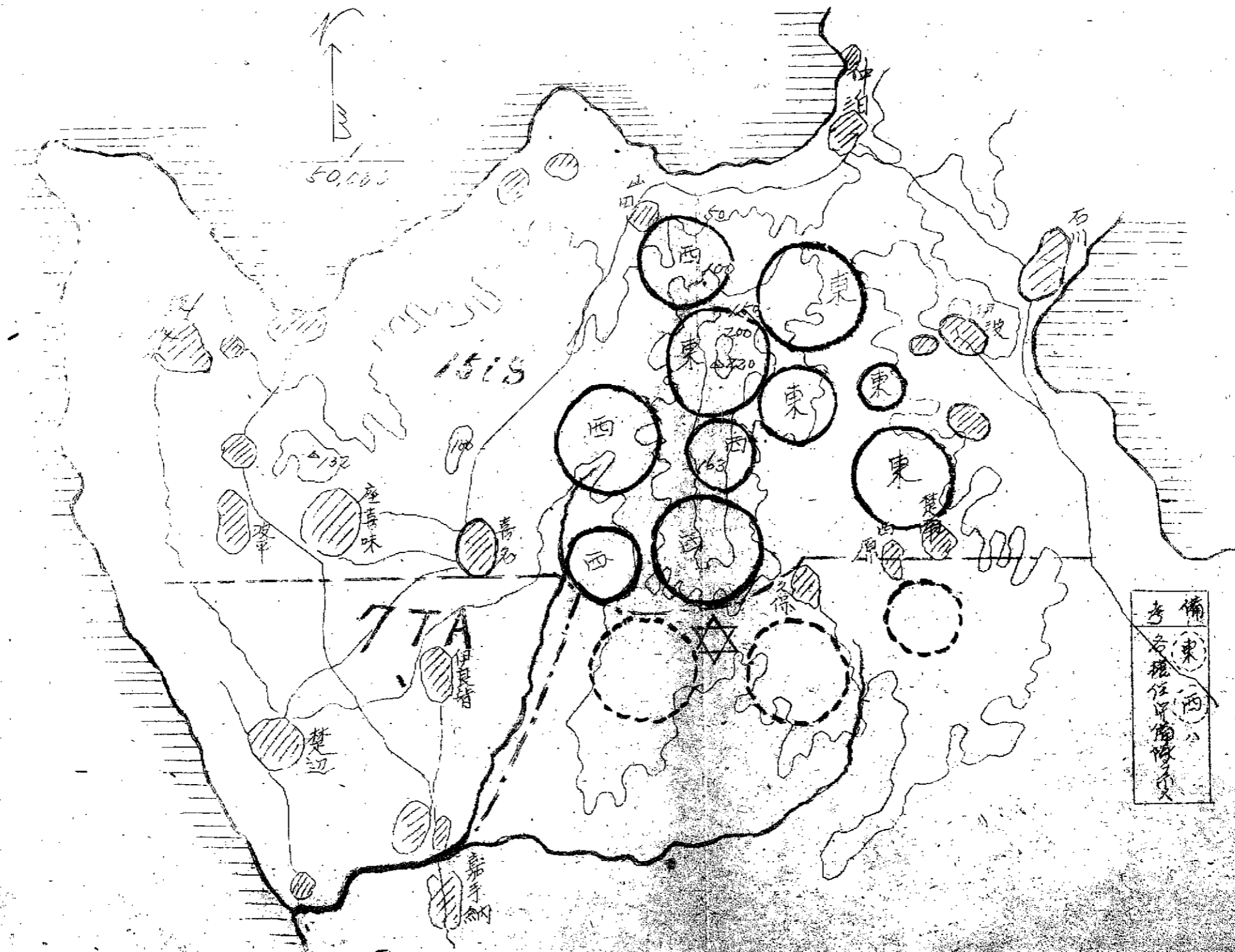
偵察區分要圖



備(東) (西) 考名擔任中備隊員

別紙

偵察區分要圖



備	東
考	西
名	
種	
任	
年	
備	
簿	
簿	
簿	
簿	

獨混五作命第四號

中頭地區隊命令

七、二六、二六〇



一 軍ハ警備中隊ノ召集ヲ解除ス

二 地區隊ハ特設警備步兵第三四中隊ヲ召集ヲ解除セントス

三 特設警備第三四中隊ハ直ニ現實施中陣地構築ヲ中止

シ本二十六日一八〇。歸郷スベシ

四 工兵隊長ハ北谷附近陣地指導ノタメ工兵一分隊ヲ北谷村

ニ差出シ警備隊ノ實施セル陣地ノ構築ニ仕セシムベシ

五 柳主計大尉ハ警備中隊ノ糧秣其ノ他ノ資材ヲ引継クベシ

六 予ハ古堅國民學校ニ在リ

中頭地區隊長 美田大佐

下達法 中隊長ニ電話ニヨリ要旨ヲ傳ヘ石川小隊ニハ第一大隊  
ヨリ伊計島分隊ニハ電報ヨリ傳達ス  
配布先 各守備隊 224 及石川小隊 伊計島分隊  
報告先 446B5

陸軍

昭和九年七月二十七日

晴

古 堅

下達命令

獨立混成第一五聯隊

第七號 拔萃

一岡澤大尉 藤本中尉 柳生計大尉 所田軍曹  
中尉後發梱包整理、為那霸市ニ出張

獨立混成第一五聯隊日日命令

古 堅

三日 日直司令 日直副官

二八日 杉浦中尉 岡田軍曹

二九日 北村中尉 石川曹長

三〇日 古川中尉 堀江曹長

三一日 藤本中尉 市川軍曹

八月一日 杉浦中尉 岡田軍曹

二日 北村中尉 石川曹長

三日 古川中尉 村野軍曹

四日 藤本中尉 市川軍曹

日直右 日直左

會報



一、內務衛兵長橋八許可セザルニ付承知ノ事

二、古川中隊

三、

四、

五、

六、

七、

八、

九、

十、

十一、

十二、

陸軍

東京小洋館

昭和九年七月十八日

晴

古堅

下達命令

獨立混成第一五聯隊

獨立混成第一五聯隊

獨立混成第一五聯隊

獨立混成第一五聯隊

獨立混成第一五聯隊

獨立混成第一五聯隊

獨立混成第一五聯隊

獨立混成第一五聯隊

獨立混成第一五聯隊

一、二。部隊長 部隊副官 柳主計大尉ヲ帶同那霸

市ニ出張

別紙

獨立混成第一五聯隊日日命令

一本廠本二八日那霸市軍司令部ニ出張ス

陸軍主計大尉 柳 素 雄

陸軍中尉 志村 敬一郎

右本廠ニ隨行ヲ命ス (以上何レモ一泊二日)

陸軍大尉 井上 清 公

本二八日軍ニ於テ實施セラレル遊撃隊斗教育ニ出席

ヲ命ス (一泊二日)

嘉手納驛構内ニ集積セル彈藥監視ノ爲メ、

七二八 古堅

車場衛兵ヲ差遣スルハシ 服装ハ部隊ノ準ニ依リテ行ハル

不交替バ。心。トス

本ノハ。左ノ記

二八日 遊園人構 工兵 井ノ木

二九日 遊園人構 聯隊砲 井ノ木

三〇日 遊園人構 通信 井ノ木

三一日 遊園人構 速射砲 井ノ木

遊園人構 遊園人構 遊園人構 遊園人構

遊園人構

遊園人構

遊園人構

遊園人構 遊園人構 遊園人構 遊園人構

東宮小隊部

獨混五作命第一五號

中頭地區隊命令

七二八、一〇三



一 地區隊ハ現實施中ノ陣地構築ヲ一時中止シ主トシテ教育訓練ヲ實施セントス

二 各隊ハ構築陣地ニ於テ主トシテ射撃、肉攻、手榴彈格闘(腰狙射撃ヲ含ム)並ニ敬礼演習ヲ實施スベシ

尚近ク移駐ヲ考慮シ遂次之ガ準備ヲ實施スベシ

三 各隊ハ將來ノ移駐地ノ狀況ニ鑑ミ爲シ得ル限りノ作戦資材ヲ現地ニ於テ收集ニ努ムルト共ニ個人裝備並ニ携行物品ノ検査ヲ實施スベシ

四子八古堅國民學校ニ在リ

中頭地區隊長

美田大佐

下達法 電話ヨリ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

配布先 各守備隊

報告先

44665

昭和九年七月二十九日

一、部隊長、部隊副官那霸出張ヨリ歸隊

晴

古堅

下達命令

別紙

攪五作命第六號

美田

陸

軍



獨混五作命第一六號

中頭地區隊命令

七二九、一〇三  
古



一 旅團ハ近ク移駐ヲ豫期ス

二 地區隊ハ將來ノ移駐ヲ顧慮シ地形及物資宿營等ノ偵察ヲ實施セントス

三 本職七月三十日ヨリ三泊ノ豫定ヲ以テ本部村及伊江島附近ノ地形並ニ物資作戰資材等ノ偵察ヲ實施ス  
別ニ示ス諸官ハ本職ノ偵察ニ隨行スベシ

中頭地區隊長 美田大佐

下達法 印刷交付

Table with multiple columns and rows, mostly blank or containing faint text.

配布先各隊  
報告先  
444BS

獨混五作命第一六號第三項示久本職隨行右左記如ク定△

左記

陸軍大尉	岡澤實
陸軍主計大尉	柳素雄
陸軍中尉	北村公
陸軍伍長	廣井忠夫
同 兵長	建石五郎
同 上等兵	齊藤忠雄
同	高野久
同 二等兵	山下久次郎

昭和九年七月五日

要

古 堅

下達命令

獨立混成第五聯隊

一 兵。後發着荷子神中尉以下一五名部隊二邊及入

獨立混成第五聯隊日日命令

古 堅

一本職明三一日ヨリ三泊予定ヲ以テ本部付伊江島方面ニ出張ス



陸軍大尉

岡澤 實

陸軍主計大尉

柳 素雄

陸軍中尉

北村 公三

同 伍長

廣井 忠夫

同 兵長

建石 五郎

同 上等兵

齊藤 忠雄

同 二等兵

高野 久

同 二等兵

山下 久二郎

右本職ニ隨行ヲ命ス

三 北村隊

陸軍上等兵

高野

同 二等兵

山下

右兵器委員勤務ヲ命ス(自動車操縦手)

陸軍兵校軍曹

長谷川新

第二大隊本部ニ於テ勤務スベシ依ツテ七月三十一日正午迄ニ

第二大隊ニ到着スヘシ

五 後發者御子神中尉以下一九五名本三〇日一六〇部隊

ニ追及ス

依ツテ 今夕、宿營ニ関シテ左ノ通心ヲ得ラヘシ

第一大隊 第三中隊ノ一七名

嘉手納警察署

残余人員ハ別ニ示ス区令ニ從ヒ聯隊本部兵舎ニ收容ス

給與ハ三日朝食ヲテ全員聯隊本部給與トス

陸軍



ニテハ別命ス

六 本日到着セル糧包整理、為各甲隊(含通信)下士官以

下全員、明三一日。七三〇本部前ニ差出シ柴田少尉ノ指

示ヲ受ケケシムベシ

本人員中ニハ本日到着セル後發者ヲ含マズ

本人員中、本日宿營地、新築寮、今、  
 示、  
 才、  
 六、  
 之、

七月三十日

雨

吉 堅

下達命令

一、一四。部隊長 岡澤大尉、柳主計大尉、北村  
 中尉、帶同地形並ニ物資、作戦資材等偵察、爲三  
 泊、予走ヲ以テ本部、伊江島方面ニ出發  
 二、後發(船舶輸送ニヨル)貨物全部嘉手納驛ニ到着  
 三、後發人員夫々所屬隊ニ追及  
 四、彈藥資材等監視、爲嘉手納驛ニ衛兵所設置  
 獨立混成第一五聯隊日日命令 七、三〇  
 古 堅  
 一昨三。日到着、日、後、奔、者、ハ、本、日、宿、營、地、ヲ、出、發、所、屬、隊、  
 ハ、連、及、ス、ベシ  
 御子神中尉ハ第二大隊ヲ、関中尉ハ第二大隊ヲ、奔、藤、伍、  
 長ハ第三中隊ヲ、夫々、區、處、シ、本、日、一、六、〇、〇、マ、デ、ニ、各、所、屬、  
 隊ニ到着スベシ  
 第二大隊以外ハ晝食ヲ携行スルモノトシ、給與ニ関シテ  
 ハ市川軍曹指示スベシ

各隊長仕者ハ楯包ニ関シ必要ナル事項ヲ紫田少尉ニ申  
送ルル

二 美子紋廻衛兵左ノ如ク差出スベシ

一日 工部兵

一日 聯隊砲

一日 通信

一日 射砲



...

...

...

...